



表彰を受ける東条さん

### 県アマ将棋 名人に東条秀樹さん (寺地)

アマチュア将棋の県名人を決定する第32期県アマ将棋名人戦が7月22日新潟市の自治労会館で開かれ、本町寺地

「ようやく取れました。父親が生きているうちには思っていたのですが、県名人は挑戦者決定戦を勝ち抜くのが難しいんです。ベスト4までは何回も行きました。今年は新春将棋大会にも優勝したので、行けるかな」と、歳も必要じゃないですか。

### 新農業委員20名が決まる 今回も無投票

新しい農業委員20名が下記のとおり決まりました。任期満了に伴う選挙が7月15日に予定されていましたが候補数が定数を超えなかったため無投票となったものです。

氏名	年齢	住所	所属
大谷 定市	52歳	木場下組	無所属
山際 良雄	48歳	木場新田	無所属
斎藤 一治	51歳	寺地本村	無所属
山城 一	46歳	木場下組	無所属
高井 四郎	43歳	金巻本村	無所属
五十嵐 郁也	47歳	北場	無所属
小林 興市	51歳	立仏	無所属
岡田 利栄	39歳	板井4	無所属
大谷 謙	50歳	木場八割	無所属
那須野 惣八	47歳	木場八割	無所属
田辺 健	49歳	板井2	無所属
片岡 耕	49歳	鳥原本村	無所属
白川 市朗	47歳	善久	無所属
小林 政雄	47歳	板井3	無所属
保 武	47歳	黒鳥1	無所属
鈴木 昭一	48歳	黒鳥5	無所属
茨木 若林	52歳	板井1	無所属
白井 一鶴	52歳	山田下	無所属
		小平方	無所属

大野町郵便局ではハガキを使ったお父さん、お母さんの似顔絵大会が今年も開催し、ロビーに展示しています。



大野町郵便局ロビー

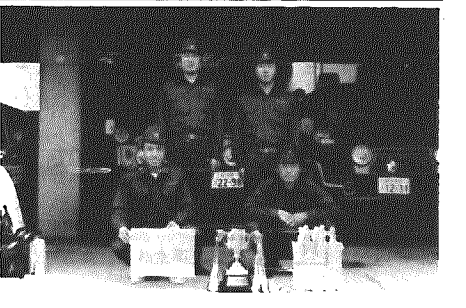
ハイポニカ農業を研究 ハイポニカ農業の研究が7月6日(金)、農協で行われ、町長、農協組合長ほか20人以上が参加した。



農協で

### 郡ポンプ操法大会

7月15日(日)、西川町で郡の小型ポンプ操法競技大会が行われ、本町代表の第6分団(善久、柳作、鈴木耕一団長)が優勝した。本町は2年連続。



### 黒埼町蜀鶏日本鶏保存会活躍

黒埼町蜀鶏日本鶏保存会は創立十周年を記念して、三重県で開かれた全国日本鶏展覧会に参加し優秀な成績を納めた。入賞者：山際憲治、山際昇平、山際幸雄、武田実、山際平治、富井作治、山際新一郎、富所半一

### 緒立遺跡の記念碑が 篤志家の寄付で出来る



緒立遺跡は何度かの発掘のあと、昭和53年から55年の本格的発掘で縄文から平安時代の遺跡とわかった。緒立八幡宮も円墳であった。

### 寺地団地が優勝 第23回町民親善大運動会

- 7月8日(日)、雨のため会場を総合体育館に移し町民大運動会が行われた。
- 成 績
- ①寺地団地 61点
  - ②金巻 57点
  - ③焼鮎団地 56点
  - ④山田 55点
  - ⑤木場 54点
  - ⑥立仏 50点
  - ⑦善久 49点
  - ⑧大野 49点
  - ⑨北場 49点
  - ⑩鳥原本村 48点
  - ⑪寺地 48点
  - ⑫鳥原大明 46点
  - ⑬小平方 46点
  - ⑭柳作 44点
  - ⑮蓮方団地 43点
  - ⑯板井 43点
  - ⑰鳥原新田 43点
  - ⑱黒鳥 42点
  - ⑳川原 36点

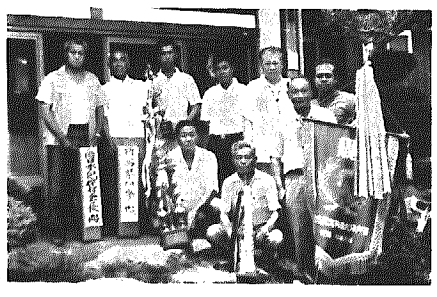


### 大野周助さんが 交通栄誉賞を受賞

大野周助さん(金巻58)がこのほど交通栄誉賞(緑十字銀賞)を全日本交通安全協会から贈られた。



また、同会では県大会でも活躍し、武田実さんが優勝した。県大会入賞者：白井正光さん、保町勝太、ほか。



### 緒立遺跡に寄せて

わたしたちの郷土にも祖先の残した貴重な遺跡、遺物が多く存在しております。緒立遺跡は昭和三十二年に発掘発見以来、五十五年まで四回も発掘調査が行われ、回を重ねるごとに全貌が明らかになってきました。

### 文化財保護 審議委員会

弥生、古墳、平安期からおびただしい遺物が発見されました。中でも重要なことは緒立の丘が一千数百年前の墳丘であったことです。

### 新潟交通電鉄8月の臨時電車

新潟交通では8月の毎週金曜日と8月9日(日)の新潟祭り当日、下記のとおり臨時列車を県庁前-木場間に走らせます。

駅	8月中毎週金曜日		8月9日(雨天中止)	
	上り	下り	上り	下り
県庁前	23:00	—	21:03	21:49
東関屋	08	23:45	11	57
東青山	10	43	13	59
平島	11	42	14	22:00
寺地	13	40	16	02
焼鮎	16	37	19	05
越後大野	19	34	22	08
黒崎中野前	20	33	23	09
新大野	22	32	25	11
木場	23:25	23:29	21:28	22:14

「機械化時代」などはもう過去のこととなり、現代は「技術電子時代」といわれます。人間の労働や技術はコンピュータ操作による自動人形が取って代わり、人間は働かなくてもよい理想郷時代に到来しつつあるように思われます。

また、生物工学の発達は生体自己制御によって、自分の病気を治療し、遺伝生化学の進歩は人為操作で自由に人体外で雌雄男女の生命を創り出すことさえ可能に近づいてきます。

一方、このようなテクノロジの発達は公害という当然起こるべき副産物を生み、人

生活を探りその精神を現代に生かすことが大切なのではないでしょうか。